広島大学：広島が牽引する「デジタル田園都市国家構想」 ～ＤＸ推進人材が切り拓く地方創生～

定員増の趣旨・必要性

【現状・課題分析】

・広島県内のデジタル技術活用の最大の課題は、中核的産業である製造業を筆頭に、あらゆる分野でデジタル化が進展し企業の構造転換が迫られる中での、県内でのデジタル人材育成・確保。解決には「地方大学を中核としたＤＸ推進人材の好循環の確立」が必要。なお、広島県内の情報系学部・学科を有する他大学は、主としてシステムエンジニアなどＩＴ人材を輩出。

【広島大学・広島県の取組】

・平成３０年に学内措置により専任教員３１人及び学生定員８０人を確保し、国立大学初のデータサイエンスとインフォマティクスを両輪とする情報科学部を設置。令和４年度の教育課程改革で全国唯一の知能科学分野を有する３プログラム制を導入することで、専門分野を体系的に修めるとともに、横断的スキルを身に付ける教育課程を構築し、県内で求められているデータサイエンティストなどの産業ＤＸを牽引する高度産業ＤＸ推進人材を育成。

・広島県は、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」 に基づき、産業ＤＸを担う人材の育成・集積を推進。

広島の全国に先駆けたＤＸ推進とともに、情報科学部の「特例的な定員増５０人」及び「現員８０人に学内振替２０人を加えた１００人」の計１５０人による「高度産業ＤＸ推進人材」育成を加速し、広島の地方創生に資する５０人以上の人材輩出により、「デジタル田園都市国家構想」を牽引する。

地域連携における緊密な連携

【ひろしまＤＸ人材育成・確保推進産学協議会】

産学官で地域の人材ニーズを汲み上げ議論し、ＤＸの推進を担う人材の育成及び確保等を行う。

ガバナンス体制、地域の支援

【学長のリーダーシップ・ガバナンス体制】

社会のニーズに迅速に対応するため、教員人事一元管理・配置により戦略的な教育研究組織改革、予算及び施設配分を実施。教育学部振替２０人。

【地域からの支援体制】

県内就職のインセンティブ制度（奨学金）

将来的に広島県内企業のＤＸを牽引する人材の確保を目的とする、奨学金制度を検討中。

地方公共団体・産業界からの教育支援

実践・実務科目への講師派遣
長・短期インターンシップの学生受入
長期有償インターンシップの給与支給　　など

情報科学部の特色ある取組

【入学試験（地元志向型特別入試：定員４５人、その他入試：定員５人）】

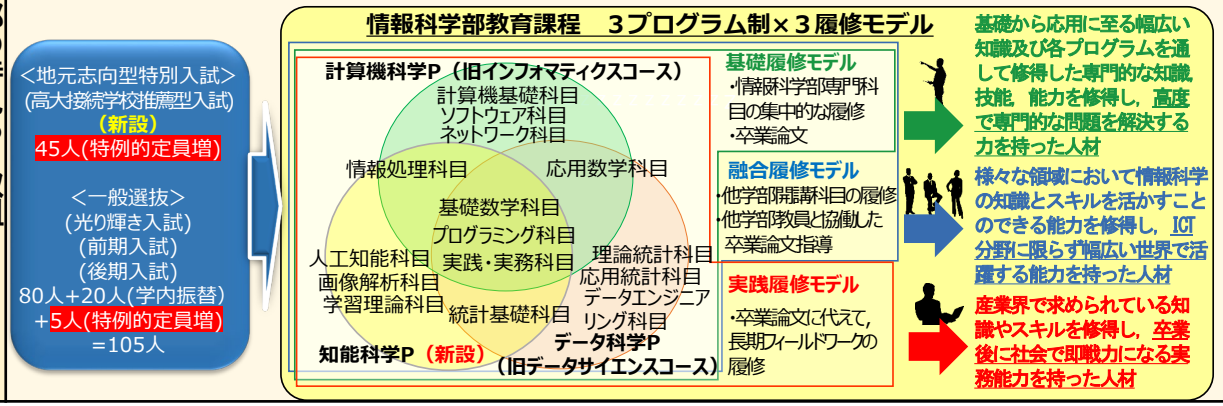
地元志向型特別入試：広島県就職を志向する受験生を対象とした高大接続学校推薦型入試。

【教育課程（全国唯一の３プログラム制×３履修モデル）】

計算機科学、データ科学、知能科学の３プログラムと融合履修、基礎履修、実践履修の３履修モデルにより、学生の幅広いキャリア形成に対応した包括的な教育。

【実践・実務科目】

学外識者や企業・自治体との連携により、専門分野に偏ることなく社会で実践されている研究・開発動向に興味を持ち、広い視野を有する人材を育成する科目。



中長期的ＫＰＩ

○広島県内企業のＤＸ推進件数
- ・広島県ＤＸ推進コミュニティの事業者の参加数：毎年５０社増
- ・ＤＸ認定制度（経済産業省）の認定事業者：毎年３社
- ・ＤＸ進捗状況調査：ＤＸ進展企業割合：６０％（令和１４年末）

○広島大学情報科学部（大学院修了者を含む）の県内就職者（高度産業ＤＸ推進人材）数
毎年５０人（令和１１年度以降）

○ＤＸ関連企業のうちひろしまユニコーン企業
２社（令和１３年度）